

2023年4月19日

2022年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人伊藤学園  
秋田情報ビジネス専門学校  
学校関係者評価委員会

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者評価委員会において「2022年度自己評価報告書」に対し、評価を行った。学校側からの説明および各委員からの意見を以下の報告書として取りまとめた。

**【学校関係者評価委員】**

≪外部委員≫

- ・鳥海 良寛 氏 日本薬剤師連盟 会員
- ・照井 一成 氏 一般社団法人情報通信設備協会東北地方本部 副本部長
- ・池谷 朝洋 氏 ラップ東京株式会社 代表取締役
- ・工藤 明美 氏 ワンワンサロンわんまる。 代表
- ・佐藤 夕 氏 株式会社南部医理科 社員

≪学校側≫

- ・佐藤 庸子 秋田情報ビジネス専門学校 校長
- ・佐藤 寿太郎 秋田情報ビジネス専門学校 副校長

## 【学校関係者評価委員会】

日時：2023年4月19日（水）15：00～16：10

場所：学校法人伊藤学園 秋田情報ビジネス専門学校 応接室

### 1. 学校からの配布資料

- (1) 2022年度事業報告書
- (2) 2022年度自己評価報告書

### 2. 学校からの主な説明

- (1) 2022年度事業報告書についての説明。
- (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき評価を実施した結果の報告。

### 3. 委員からの主なコメント、質疑応答

#### ・評価項目（1）－3

学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか

コメント：保護者等への周知方法として、保護者宛ての資料を配布することを検討されてはいかがか。

回答：保護者面談等の説明をする機会に加え、保護者宛ての資料配布を今後検討する。

#### ・評価項目（2）－5

情報システム化等による業務の効率化が図られているか

コメント：紙ベースの管理の方がやりやすい業務もあると思うので、システム化在りきの体制にすべきではない。

回答：システム化による効率化が適切であるものと、紙ベースが良いものを整理し、効率化できる業務は積極的に効率化してまいりたい。

#### ・評価項目（5）－1

就職・進路支援のための組織体制はあるか

コメント：専門のカウンセラーを配置したからといって、問題が解決するとは限らないのではないか。

回答：各学生によって希望職種やエリアは異なる。各学科担当を中心としながら、カウンセラーからの支援も取り入れていきたい。

#### ・評価項目（7）－1

学生募集活動は、適正に行われているか

コメント：SNS広告など、様々な媒体があると思うので、有効性を検証したうえで、活用を検討されてはいかがか。

回答：様々な媒体の活用を検討してまいりたい。

2023年4月25日

2022年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人伊藤学園  
秋田社会福祉専門学校  
学校関係者評価委員会

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者評価委員会において「2022年度自己評価報告書」に対し、評価を行った。学校側からの説明および各委員からの意見を以下の報告書として取りまとめた。

**【学校関係者評価委員】**

≪外部委員≫

- ・渡部 幸雄 氏 秋田県介護福祉士会 会長
- ・須田 剛 氏 社会福祉法人秋田県厚生協会 特別養護老人ホーム高清水寿光園 施設長

≪学校側≫

- ・佐藤 庸子 秋田社会福祉専門学校 校長
- ・佐藤 寿太郎 秋田社会福祉専門学校 副校長
- ・菅原 博子 秋田社会福祉専門学校 教員

## 【学校関係者評価委員会】

日時：2023年4月25日（火） 15：30～16：30

場所：学校法人伊藤学園 秋田社会福祉専門学校 応接室

### 1. 学校からの配布資料

- (1) 2022年度事業報告書
- (2) 2022年度自己評価報告書

### 2. 学校からの主な説明

- (1) 2022年度事業報告書についての説明。
- (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき評価を実施した結果の報告。

### 3. 委員からの主なコメント、質疑応答

#### ・評価項目（3）－9

目標資格の内容・取得意義を明確化しているか

コメント：入学時点と在学期間中で求める資格や進路の変更があるのか。

回答：在学期間中に希望進路が変更することはある。特に4年課程においては、在学期間が長いため、モチベーションも含めてきめ細かな対応を引き続き行ってまいりたい。

#### ・評価項目（4）－3

資格取得率の向上が図られているか

コメント：資格取得率向上に向けた取組は何か。

回答：各種資格の取得に向けた適切な対策を実施している。難関国家資格である社会福祉士については、4年次に国家試験対策講座を1年間実施し、3年連続全国平均を上回る合格実績を出している。引き続き対策を続けていきたい。

#### ・評価項目（7）－1

学生募集活動は、適正に行われているか

コメント：テレビCMなど拝見することがあるが、それ以外に対策はしているか

回答：高校生がよく見られるSNS広告などを積極的に活用している。今後も継続して取り組んでまいりたい。

以上